

4. 停止時の点検

エンジン発電機の停止は、電気の利用者に連絡をしてから停止してください。その際、発電機の電流計が「0A」になっているのを確認して、発電機遮断機を「OFF」し、冷機運転を行ったのちエンジンを停止させてください。

エンジンコンプレッサの停止時は、すべてのサービスバルブを全閉にし、アンロード状態で十分に冷却運転をします。次にエンジンキーを「停止」の位置に回すとエンジンは停止します。エンジンが停止すると自動放出弁よりコンプレッサ内の残留空気が 90~120 秒で放気されます。

機械の停止時には、終業点検を必ず行ってください。なお、各部は高温になっているので目視で異常がないかを確認してください。終業点検の励行により翌日の作業が快適、かつ、迅速に開始できます。